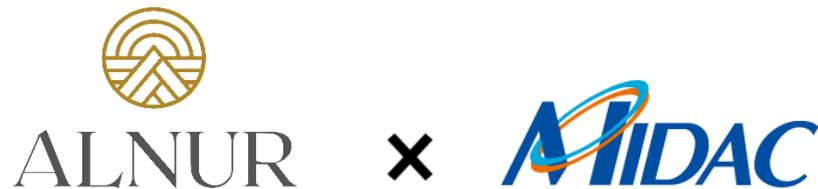


脱炭素社会に向けた微細藻類培養 CCU[※]技術に 関する共同研究を開始します



バス株式会社（東京都渋谷区：代表取締役 高橋 勇造 東証スタンダード市場 コード番号3840）の連結子会社である株式会社アルヌール（東京都渋谷区：代表取締役 星 淳行、以下、アルヌール）と株式会社ミダック（静岡県浜松市：代表取締役社長 加藤恵子）は「微細藻類培養を通じた廃棄物焼却施設から放出する焼却由来CO₂の有効利用・脱炭素技術開発及び希少有用成分の用途・市場開拓」という題目で共同研究を行うことに合意し、共同研究契約を締結しました。

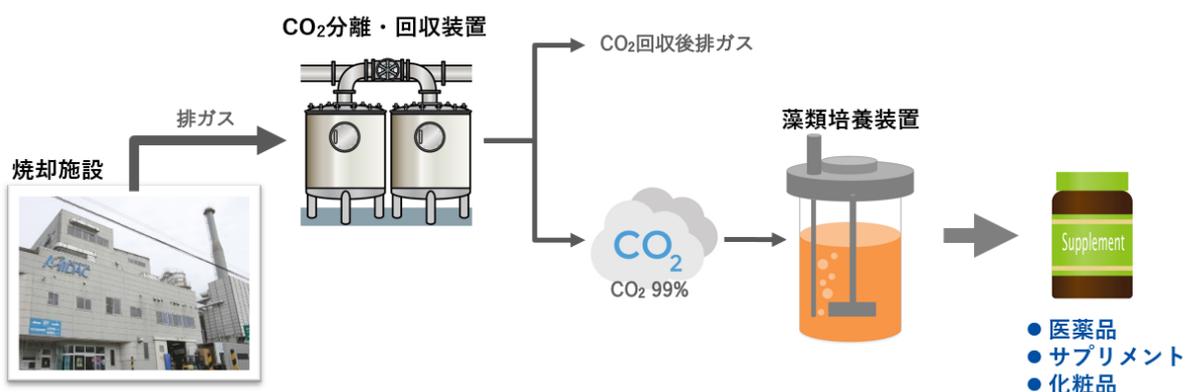
※：CCUとは、「Carbon dioxide Capture and Utilization（二酸化炭素の分離回収と有効利用）」の略であり、発電所や化学工場等から排出されたCO₂を、他の気体から分離して集め、新たな製品の製造に利用するプロセスのことを言います。

本研究では、焼却由来CO₂を利用した微細藻類栽培により、高付加価値物質「フコキサンチン」を生産することで、経済性を確保しながら焼却由来のCO₂削減を目指すことを目的とします。

フコキサンチンは、がんや糖尿病、肥満等に対する生理的活性が期待され、活発に研究がなされている物質ですが、フコキサンチンを生成できる微細藻類の大量連続培養が難しく、仮に市場が形成されても安定供給が難しいのが現状です。

フコキサンチン生成微細藻類の連続培養技術に強みを持つアルヌールとミダックが協働することで、大量生産・安定供給の技術開発を加速させ、フコキサンチン事業創出、CO₂排出量削減を図っていきます。

焼却炉CCU イメージ図



本研究ではこれまでのアルヌールR&Dセンターに加え、ミダック富士宮事業所内に新実験室を整備いたしました。今後、この2拠点で本研究を推進していきます。

なお本件による業績に与える影響は、現時点では軽微であります。



ALNUR R&Dセンター



ミダック富士宮事業所 新設実験室

【各社の概要】

会社名：株式会社アルヌール
設立：2020年11月
所在地：東京都渋谷区神宮前6-17-11 JPR原宿ビル6階
代表：代表取締役 星 淳行
事業内容：微細藻類の大量培養技術を軸とした、有用物質生産
URL：<https://www.alnur.jp/>



会社名：株式会社ミダック
設立：1987年8月
所在地：静岡県浜松市東区有玉南町2163番地
代表：代表取締役社長 加藤恵子
事業内容：産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・処分(中間処理・最終処分)
URL：<https://www.midac.jp/> (ミダックホールディングス HP)
問い合わせ：株式会社ミダック 事業部 事業管理グループ TEL：03-5467-7552



<報道関係の方からのお問い合わせ>

パス株式会社 担当 小佐々 由美

TEL: 03-6823-6664 E-Mail: ir@pathway.co.jp



以上